

2015年 8月期 中間

INTERIM BUSINESS REPORT

2014.9.1-2015.2.28 JASDAQ 証券コード2157



カラオケ・カーブス2事業の好調に加え、構造改革を進める温浴事業の業績も改善の足取りが確かなものとなってまいりました。————— 代表取締役社長 腰高 博



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

Q1 当上半期の業績は、いかがでしたか？

当上半期の連結業績は、前年同期比2桁の伸びを示す増収および営業増益となりました。カラオケ事業では、前期後半からの既存店の収益改善を持続し、堅調な推

移となりました。カーブスは引き続き好調を持続し、売上・利益の両面で成長を牽引しております。ご心配をおかけしております温浴事業については、黒字化の目途が立つ改善ぶりとなっております。

Q2 「カラオケ事業」における国内戦略について教えてください。

前期までの基盤強化の取り組みを基礎に、当期は、既存店の更なる活性化や新規顧客・新規市場の創造などを軸に、攻めの経営を推し進めてまいります。

まず、出店戦略については、首都圏の一都三県において従来の郊外型に加え都市型の駅前・繁華街店舗の出店を加速していきます。3年以内に50店舗規模のドミナント形成を図り、首都圏におけるプレゼンス(存在感)を示していきます。

既存店の活性化については、他のカラオケ店にはない独自の差別化戦略を引き続き積極的に展開し、当社店舗の魅力を高めていきます。新システム「すきっと」の導入から約1年半が経過しますが、その独自性の高さが評価され、音楽・映画・アニメなど様々な業界のコンテンツホルダーからのコラボ企画提案が増え続けております。たとえば、若者層に人気のあるアニメ「弱虫ペダル」とのコラボ企画では、熱狂的な女性ファンが押し寄せるなど、新たな客層開拓にもつながりました。昨年立ち上げ

た全国ご当地アイドル応援企画「すきドルPROJECT」も、第2回となる本年の開催で更に盛り上がり期待され、「すきっと」を活用した展開はますます魅力を増していくものと考えております。



Q3 「カラオケ事業」における海外戦略も加速していますね。

初進出から約4年を迎えた韓国においては、「まねきねこ」ブランドの認知度が相当に高まってきており、現在、前年同期比2桁増の好調な推移となっております。本年2月には5店舗目もオープンしました。店舗運営ノウハウが蓄積してきましたので、5年で100店舗を目標に、出店を加速していきます。

一方、昨年2月に子会社化したシンガポールのK BOX社については、本年より経営体制を一新して店舗運営・管理の再構築による高収益店舗づくりに着手しております。

次の進出エリアとしては、フィリピン、インドネシア、ベトナムなど、国民の平均年齢の若い国を中心に、拡大を目指します。

Q4 1,500店舗体制を築いた「カーブス事業」の今後の戦略を教えてください。

カーブスは、中期目標の1,500店舗を昨年10月に突破し、2015年2月末現在1,535店舗となっております。今後は、既存店の収益拡大を重視した安定成長の持続を図っていきます。

これまでカーブスは、会員様の満足度をあげるための細かな“気づき”を全国の各店舗で出し合い、常に成功事例の横展開を積み重ねてきました。これは、簡単にはまねのできない圧倒的な違いを生み出しています。

おかげさまで、会員様も65万人を超えることができました。今後もご利用いただきやすい価格やシステム、きめ細かな工夫など弛まぬ努力を積み重ね、カーブスにしかない価値の提供に取り組んでまいります。また、厚生労働省が目指す「健康寿命の延伸」にも適しているとの評価から、多くの自治体からもお声掛けいただいています。日本のシニア女性の健康にしっかりと寄り添いたいと考えます。

Q5 「温浴事業」の収益改善状況は、いかがですか？

温浴事業については、当期の1年間を「抜本的な構造改革の年」と位置づけ、不採算店舗2店舗の閉鎖を行い、事業全体の収支バランスの改善を図りました。残る5店

舗は、様々な魅力アップ策(TOPICS「東京健康ランド まねきの湯」の記事を参照)に取り組んできたことで、客数は増加傾向に入ってきました。収益構造が明らかに変わってきたと実感しております。単月黒字を徐々に増やし、年間での黒字化を早期に実現したいと考えています。

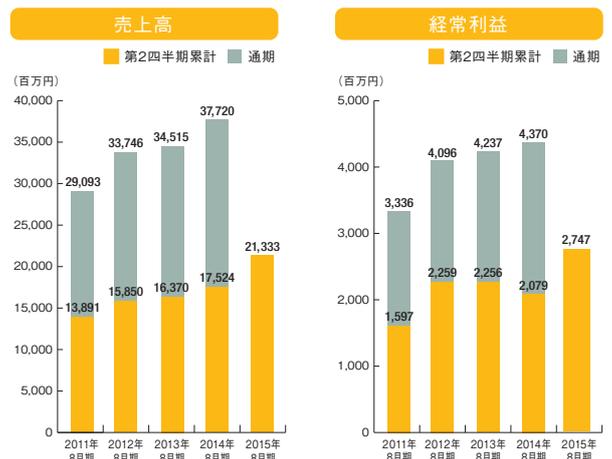
Q6 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

将来にわたって持続的な成長を図っていくために、当社は、国内事業基盤の強化に加え、現在、海外事業展開を積極化しており、今後、更に加速していきたいと考えております。企業価値の最大化に取り組むことで、株主の皆様への利益還元もこれに対応し安定的に拡大・持続していくことを目指します。

株主の皆様には、今後とも引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

財務ハイライト

(2014年9月1日～2015年2月28日)



「東京健康ランド まねきの湯」が天然温泉に。 同施設2階には「カラオケ本舗 まねきねこ」もオープン

「東京健康ランド まねきの湯」(東京都江戸川区船堀)では、かねてより行っていた掘削工事も完了し、昨年11月より、天然温泉として生まれ変わりました。地下から汲み上げている天然温泉は、美肌効果のある“美人の湯”と言われています。ジェットバスやパルス(電気)バス、シルクインバスなどの設備が充実した大浴場に加え、露天風呂、サウナなど多彩なリラクゼーションをお楽しみいただけます。また、お食事は、“手づくり”にこだわった1階の大広間に加え、2階にはフードコートもご用意しています。

同施設の2階には「カラオケ本舗 まねきねこ 船堀店」もオープンし、楽しみ方が更にパワーアップ。株主様ご優待券をご活用いただき、ぜひ一度、健康ランドでの寛ぎの時間をご堪能ください。



▲東京健康ランド まねきの湯

日本女性の若返りに寄与すべく、 「体力年齢測定プログラム」を開発

全国の女性から圧倒的な支持を集めている「カーブス」では、日本女性にいつまでも若く健康であってほしいという願いを込めて、「体力年齢測定プログラム」を開発しました(独立行政法人国立健康・栄養研究所 宮地元彦氏監修)。筋力、平衡性、柔軟性の力がわかる「上体起こし」「片足立ち上がり」「長座体前屈」の3つの測定項目で体力年齢を推定するものです。“体力があるほど病気になりにくい”という研究結果もあり、自身の体力年齢を知ることで運動へのモチベーションを高めていただけることが期待されます。



▲「体力年齢測定プログラム」による測定風景

全国のカーブス店舗では本年2月より会員様向けに導入し、3ヵ月に1度の頻度での実施を予定しています。

事業セグメントの状況

Segment Information

カラオケ事業

当第2四半期連結累計期間実績
売上高117億12百万円

全店導入後約1年となる自社開発システム「すきっと」が各方面から注目を集め、コラボ企画などにより新しい楽しみ方が拡大するなど差別化が更に進みました。加えて、新規出店15店舗・リニューアル18店舗も実施しました。これらの結果、売上高は117億12百万円(前年同期比23.2%増)、セグメント利益は9億85百万円(同37.1%増)となりました。

温浴事業

当第2四半期連結累計期間実績
売上高7億66百万円

カラオケ事業で培ってきたノウハウを活かしながら、引き続き収益性の改善に注力した結果、売上高は7億66百万円(前年同期比2.8%減)、セグメント損失は63百万円(同47百万円損失額減少)となりました。

不動産管理事業

売上高1億57百万円

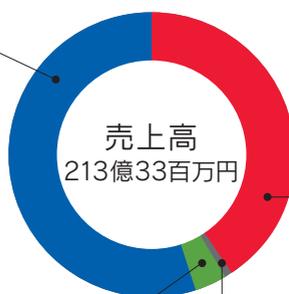
事業セグメント別売上高構成比

■ カラオケ事業	54.9%
■ カーブス事業	40.8%
■ 温浴事業	3.6%
■ 不動産管理事業	0.7%

カーブス事業

当第2四半期連結累計期間実績
売上高86億96百万円

本部と加盟店が一体となってサービスの持続的向上・改善、通いやすい店舗網構築に努めた結果、店舗数と会員数が好調な増加を続け、売上高は86億96百万円(前年同期比22.7%増)、セグメント利益は20億51百万円(同36.8%増)となりました。



売上高
213億33百万円

株主優待制度については
ホームページをご覧ください。

<http://www.koshidakaholdings.co.jp/stockholder.html>

今後のインバウンド需要拡大を睨み、日本初のハラル対応カラオケ店舗を開業

政府が掲げる「観光立国」の実現を目指した各種政策の後押しもあり、近年、インバウンド需要（訪日外国人観光客による消費）が拡大の方向を見せています。当社は、このインバウンド需要における取り込みの一環として、昨年12月25日、日本初のハラル*対応店舗を東京・四谷にオープンしました。

インドネシアなどムスリム（イスラム教徒）の多い国からの観光客や留学生は、訪日ビザの緩和などに伴って増加傾向にあり、今後、ハラル市場の拡大が期待されます。当社は、将来の需要拡大を睨み、ムスリムのお客様が安心してご来店いただける環境づくりの準備として、ハラル対応の第1号店を開業し、ノウハウの蓄積を図っていく考えです。

今後、増加が見込まれる世界各国からの訪日外国人の方々にも、日本を代表する余暇文化である「KARAOKE（カラオケ）」を楽しんでいただくべく、インバウンド需要への対応を積極化していきます。

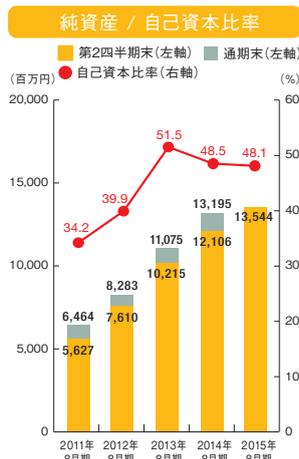
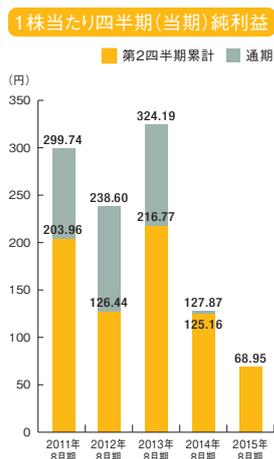
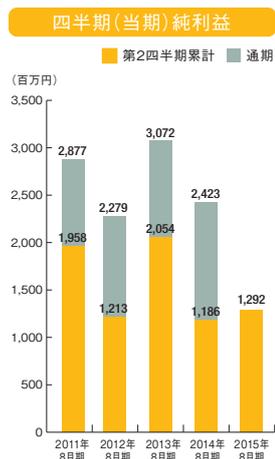
*ハラル：イスラム法において「合法」なもの。食品では、豚肉、肉食動物、爬虫類、昆虫類等は食べることを禁じられています。ハラル認証では、製造工程や材料について詳細に確認し、イスラム法に則った基準をクリアしているかどうかなどが審査されます。今回当社は、都内にあるハラル審査機関「マレーシア ハラル コーポレーション株式会社」から、店内で提供する料理や飲み物に対して「ローカルハラル認証」を取得しました。



▲日本初のハラル対応店舗「カラオケ本舗 まねきねこ 四谷三丁目店」

当第2四半期連結決算のポイント

カラオケ事業の回復、カーブス事業の成長、温浴事業の改善により増収増益となりました。売上高は213億33百万円（前年同期比21.7%増）、経常利益は27億47百万円（同32.2%増）、四半期純利益は12億92百万円（同8.9%増）となりました。



Financial Highlights

ポイントの解説

1 売上高について

カラオケ事業では「すきっと」を基礎に新たな楽しみ方の幅が広がり、固定客化や新規顧客拡大が進み、9店舗の純増も果たしました。カーブス事業では59店舗増加（会員数9千人増加）し好調な拡大を続けました。これらが増収を牽引しました。

2 利益について

利益率の改善が進んだカラオケ事業、好調な推移を続けているカーブス事業ともに、セグメント利益が前年同期比30%を上回る大幅な増益となりました。また、黒字化に取り組んでいる温浴事業では、不採算施設の閉鎖と更なる省エネ化への取り組み等により利益改善が進んでいます。これらの結果、営業利益は前年同期比34.2%増となりました。

(注)2011年9月1日付で1:400、2014年9月1日付で1:2の株式分割を実施しております。

キーワードで紹介! コシダカの経営哲学

戦う土俵は自ら作れ!

カラオケ事業を開始して間もないころ、当社店舗のすぐそばに競合する大型店舗の出店があった時のことです。

社員を鼓舞するために私が言ったこと——それは、「大きな相手と戦う時に同じ土俵で戦っても駄目だ。相手よりも室数を増やす、といったやり方では、体力勝負になるだけ。相手がやっていないこと、やれないことで差別化して



いけば、なかなかまねができないもの。相手とは違う土俵を自ら作れ!」ということでした。

それ以来当社は、常にこの考え方を実践してきました。全国展開店舗数業界トップクラスとなったカラオケ事業では、カラオケチェーンを営む企業として初めてとなる自社製のシステム「すきっと」の開発・導入、業界初の海外進出、共通ポイントサービス「Ponta(ポインタ)」の業界初の導入、業界初のハラル認証取得など、オリジナリティに溢れる展開で成長を続けています。

当社はこれからも、自ら土俵を作り、お客様に常に新しい提案を投げかけていくことで、社会に新しい価値を創造し、社会と共に、お客様と共に成長・発展していきたいと考えています。

VOICE

現場社員の声

日本初のハラル対応カラオケ店の店長として、「カラオケ本舗 まねきねこ」の「インバウンド」ノウハウ構築に力を尽くしていきます。



新業態開発部 四谷三丁目店 店長
山谷 大樹

「カラオケ本舗 まねきねこ 四谷三丁目店」は、日本初のハラル対応のカラオケ店として2014年12月25日にオープンし、新聞をはじめとしたメディアに取り上げられ話題を呼んでいます。

この新しい試みをスタートした店の店長としてオープン準備に携わるまで、私は、イスラムのことをよくわかっていませんでした。関わって初めてわかったのですが、イスラムの教えには単に食べてはいけない食材があるだけではありません。健康かつ安全な生活を送るためのガイドラインとして、多岐にわたった決め事が設けられています。

たとえば、安心して食べることができる食材として認定されたものを「ハラル」、豚由来・アルコール由来のものなど食べることが禁じられて

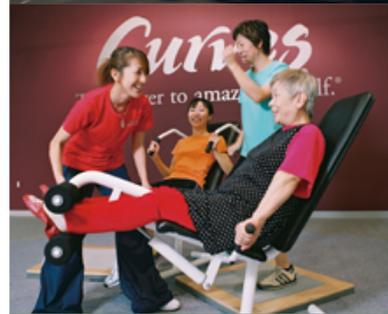
いるものを「ノンハラル」または「ハラム」と言います。当店では、ハラル食材を使ったメニューをご用意しておりますので、ムスリム(イスラム教徒)の方々にも安心して召し上がっていただけます。また、食器や洗い場もハラルに従った別仕立てとしており、トイレも専用のスペースを設けています。

オープン以来、たくさんのムスリムの方々にご来店いただき、接するにつれ、認識を新たにしました。明るく、陽気にカラオケを楽しまれる姿は私たちが何も違いがなく、世界はまだまだ広いと実感している毎日です。

今の私の目標はハラル対応カラオケの2号店を作ること、そして、ハラル認証が付いた「カラオケ本舗 まねきねこ」の新しい看板を全国に広めていくことです。



カーブス事業



温浴事業



■ 会社の概要 (2015年2月28日現在)

会社名 株式会社コシダカホールディングス
 英訳名 KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.
 設立年月日 1967年3月31日
 東京本社 東京都港区浜松町二丁目4-1
 世界貿易センタービルディング23階
 前橋本社 群馬県前橋市大友町一丁目5-1
 資本金 4億9,360万円
 事業内容 カラオケ事業
 (店舗数: 国内375店舗)
 カーブス事業
 (加盟店舗数: 1,535店舗)
 温浴事業
 (店舗数: 5店舗)
 従業員数 グループ従業員 3,189名
 (正社員 955名、パート・アルバイト 2,234名)
 パート・アルバイトは1日8時間換算人数

■ 役員 (2015年3月1日現在)

代表取締役社長 腰高 博 常勤監査役 西 智彦
 専務取締役 腰高 修 監査役 寺石 雅英
 常務取締役 朝倉 一博 監査役 森内 茂之
 常務取締役 腰高 美和子
 常務取締役 土井 義人

■ 大株主 (上位5名)

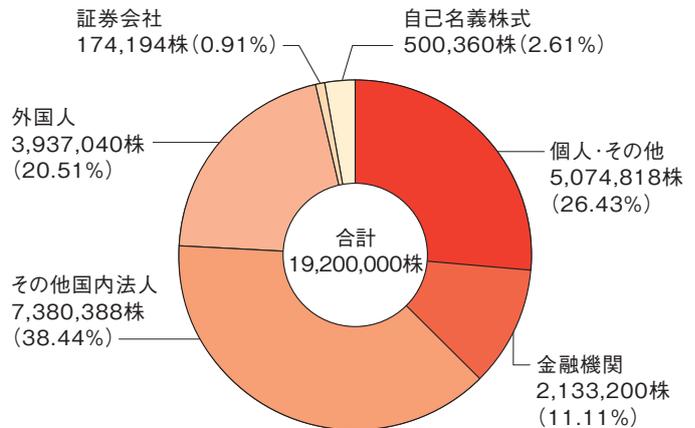
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	5,832,000	30.38
腰高 博	2,310,000	12.03
株式会社アイエムオー	1,366,000	7.11
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	717,200	3.74
ビービーエイチ フィデリティ ロー プライズド ストック ファンド	678,280	3.53

■ 株式の状況 (2015年2月28日現在)

発行可能株式総数 76,800,000株
 発行済株式の総数 19,200,000株
 株主数 3,188名

(注) 2011年9月1日付で1:400、2014年9月1日付で1:2の株式分割を実施しております。

■ 所有者別株式分布状況 (2015年2月28日現在)



■ 株主メモ (2015年2月28日現在)

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
 定時株主総会 毎年11月下旬
 基準日
 定時株主総会・期末配当 毎年8月31日
 中間配当 毎年2月末日
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
 住所変更のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
 「配当金計算書」について 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
 ※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

当社に関する詳しい情報は、ホームページでご覧ください。

<http://www.koshidakaholdings.co.jp/>



株式会社コシダカホールディングス

〒105-6123
東京都港区浜松町二丁目4-1
電話 03-6403-5710(代) Fax 03-6403-5727



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。